

コンプライアンスチェックシートによる自己検証の集計結果について

コンプライアンスの推進に当たり、チェックシートによる 20 項目の自己検証を実施しましたが、実施割合が 90%未滿の項目が 3 項目（昨年度 4 項目）ありました。

うち 2 つは業務外の項目ですが、業務中に限らず、業務外においても公務員であることを意識し、市民の要望に応える行動を心掛けてください。

なお、本市が示すコンプライアンスとは、コンプライアンス＝法令遵守にはとどまらず、法令や業務の目的を理解した上で、職員が互いに力を合わせて、社会的要請や期待に鋭敏に反応し、バランスよく応えることとしています。

今後もコンプライアンスの推進について、積極的に取り組むようお願いいたします。

<集計結果（全部局集計）>

チェック項目	実施割合		
	H26年度	昨年度	
全体	93.99%	-	
1 身分証明書は、要求があった場合に直ぐに提示できるように携帯している。	96.14%	94.03%	↗
2 電話に出るとき、かけるときは、まず職場名と氏名を告げている。	96.22%	94.88%	↗
3 公文書は、保存年限、目的別にわかりやすく整理している。	95.20%	95.89%	↘
4 個人情報保護条例の概要を理解している。	96.07%	94.57%	↗
5 職場のパソコンを業務以外で使用していない。（職務に関係のないWebサイトの閲覧を含む。）	96.85%	96.35%	↗
6 メールの送信時、To・Cc・Bccを目的に沿って使い分けている。（使い分けることを理解している。）	95.75%	94.34%	↗
7 郵便、FAXの発送や送信時は、宛先と中身を複数人でチェックしている。（FAXの短縮ダイヤル登録による送信は、複数人チェック不要。）	83.40%	82.16%	↗
8 契約書や通知文書など、重要な書類の作成に当たっては、一言一句複数人でチェックしている。	97.40%	95.58%	↗
9 他の部署で発生したミスを教訓に、対応策を講じている。	96.22%	95.81%	↗
10 業務マニュアルを作成し、確認している。	90.64%	89.60%	↗
11 地域活動に参加している。（PTA、スポーツ少年団の手伝い等を含む。）	67.03%	63.85%	↗
12 定期的に職場会議や打合せなどで情報を共有している。	96.30%	95.97%	↗
13 売店などでの買物やATMの利用は、休憩時間内に行っている。（私用は勤務時間外に行っている。）	90.17%	87.43%	↗
14 公用車に同乗した場合は、後退時に降車して誘導するなど、走行中に運転者の安全確認を補助している。（補助することを理解している。）	98.98%	96.43%	↗
15 来客者に対し、「こんにちは」や「どちらに（どちらの課、係に）ご用ですか？」など自分から声掛けをしている。	97.56%	95.35%	↗
16 市民に不信感を与えない身だしなみをしている。（広い年齢層への対応を意識した服装）	99.92%	-	-
17 日常生活において、自己研鑽を行う時間を確保している。	87.10%	-	-
18 他部署も関連する課題について、連携して解決するよう努めている。（うちの職場（私）の仕事ではないと主張していない。）	99.13%	-	-
19 忘年会、新年会等の懇親会において、守秘義務に違反する会話は慎んでいる。	99.84%	-	-
20 交通事故・違反を起こした際には、所属長を通して総務部行政監理室に報告が必要であることを理解している。	100.00%	-	-

## 【実施割合が低い（90%未満）3項目】

以下の項目について改めて確認をし、改善に努めるようお願いします。

**No.7 郵便、FAXの発送や送信時は、宛先と中身を複数人でチェックしている（FAXの短縮ダイヤル登録による送信は、複数人チェック不要） 83.40%**

必要な書類の封入もれや、個人情報に記載された書類を誤った宛先にFAX送信するなどの不適切な事務処理により、担当者と所属長が処分された事例が過去にあります。

必ず複数人でのチェックを行いましょう。

**No.11 地域活動に参加している（PTA、スポーツ少年団の手伝い等を含む） 67.03%**

苫小牧市自治基本条例では、「情報共有」、「市民参加」、「協働」をまちづくりの基本原則として、市民自治によるまちづくりをすすめることとしています。

職員自ら地域活動（スポーツ少年団の手伝いや、〇〇連盟等の活動を含む。）、社会貢献に積極的に関わることで、真の市民ニーズを把握することができます。

「地域活動はコンプライアンスに関係あるのか？」との意見が寄せられますが、地域活動（社会貢献）をコンプライアンスの取組の一環としている民間企業も多く、決して誤った解釈ではありません。

町内清掃に参加するなど、できることから始めましょう。

**No.17 日常生活において、自己研鑽を行う時間を確保している 87.10%**

苫小牧市人材育成基本方針において、目指すべき職員像の1つとして「行政職としてのプロ意識を持った職員」を掲げており、自己研鑽を重要視しています。

1人ひとりの能力向上が、市役所全体の業務能率向上につながります。朝活で本を読む時間を設けるなど、工夫して時間を確保しましょう。

## 【項目全体の実施割合が高い上位3部局】

※部局ごとの集計結果は、別添の「集計結果一覧（全部局）」をご覧ください。

1	消防	98.71 %
2	監査委員事務局	98.00 %
3	健康こども部	95.61 %

## 【その他注意事項】

- 情報推進課から、業務用端末での不適切なサイトの閲覧が増えているとの報告を受けています。本格的な調査も視野に入れていますので、心当たりのある職員は端末の使用法を改めてください。
- 交通事故・違反が未報告であることが判明した職員複数人について、処分を検討しています。事故・違反は、必ず所属長を通して総務部行政監理室に報告してください。